Original R/D	Modified R/D
(1) Project Director: Deputy Head for Natural Environment and Biodiversity Division, DOE, Tehran (2) Project Manager: General Director, DOE Guilan Provincial Directorate (3) Other staff	(1) Project Director: Deputy Head for Natural Environment Division, DOE, Tehran (2) Project Manager: Senior Wetlands' Expert, Habitat and Protected Area Bureau of Natural Environmental Division, DOE, Tehran (3) Deputy Project Manager: (The Deputy Project Manager will be appointed by the Project Manager under consultation with Project Director by the timing where the counterpart personnel are appointed.) (4) Provincial Project Coordinator: General Director, DOE Gilan Provincial Directorate (4) Other staff
ANNEX VI **JOINT COORDINATION COMMITTEE** 2. Members of the JCC (1) Chairperson Deputy Head for Natural Environment and Biodiversity Division, DOE, Tehran (2) Co-Chairperson: General Director, DOE Guilan Provincial Directorate (3) Iranian side: - Representatives of GIS section, DOE Guilan Office - Representatives of Wildlife and Biodiversity section, DOE Guilan Office - Representatives of Laboratory section, DOE Guilan Office - Representatives of Natural Environmental section, DOE Guilan Office	**ANNEX VI** **JOINT COORDINATION COMMITTEE** 2. Members of the JCC (1) Chairperson Deputy Head for Natural Environment Division, DOE, Tehran (Project Director) (2) Co-Chairperson: Senior Expert of Wetlands, Habitat and Protected Area Bureau of Natural Environmental Division, DOE, Tehran (Project Manager) (3) Iranian side: - Deputy Project Manager (The Deputy Project Manager will be appointed by the Project Manager under consultation with Project Director by the timing where the counterpart personnel are appointed.) - General Director, DOE Gilan Provincial Directorate (Provincial Project Coordinator) - General Director or Representative of

Original R/D	Modified R/D
- Representatives of Law section, DOE Guilan Office - Representatives of Public Relations section, DOE Guilan Office - Representatives of Environmental Education section, DOE Guilan Office - Counterparts	Habitat and Protected Area Bureau, Natural Environment Division, DOE Tehran - National Project Manager or Representative, Conservation of Iranian Wetlands Project - Managing Director, Ministry of Jehad-e-Agliculture (MOJA) Gilan Office - Managing Director, Gilan Regional Water Organization (GRWO) - Mayor of Anzali City - Mayor of Somesara City - Mayor of Masal City
- Relevant personnel accepted by the Chairperson/Co-chairperson, if necessary (4) Japanese side: - Chief Advisor of the Project - Project Coordinator of the Project - JICA Experts of the Project - Other personnel concerned, to be dispatched by JICA, if necessary - Representative of JICA Iran Office	- Relevant personnel accepted by the Chairperson/Co-chairperson, if necessary (4) Japanese side: - Representative of JICA Iran Office - Chief Advisor and Deputy Chief Advisor of the Project - Other personnel concerned, to be dispatched by JICA, if necessary

ANNEX VI

Checklist of Items to be done by Iranian Side before Recommencement of the Project

No.	Action to be Taken	Responsible person/body	Deadline	Completion (Yes/No)
[Implementation structure]				
1	List of Iranian counterpart	PM	End of December 2010	
[Logistics Arrangement]				
2	Preparation of the project office in DOE Gilan Office with necessary office furniture such as desk and chair	PM	End of January 2011	
3	Arrangement of drivers for the two project vehicles	PC	End of January 2011	
[Output 1]				
4	Member List of Anzali Wetland Management Committee	PM	End of December 2010	
[Output 2]				
5	Translation of the Ecological management plan, which was prepared by DOE Gilan	PC	End of December 2010	
6	Methodology and results of bird survey, instructed by Netherland	PM	End of December 2010	
[Output 3]				
7	GIS data of the Anzali Wetland, especially related to the zoning	PM	End of January 2011	
[Output 4]				
8	Provision of the Integrated Tourism Master Plan for Anzali Wetland in 2008 (if possible in English)	PC	End of December 2010	
[Output 5]				
9	List of activities on environmental education, which have been conducted in the Anzali Wetland Environmental Education Center after termination of the Project.	PC	End of December 2010	

PM: Project Manager, PC: Project Coordinator

面談記録（アンザリ湿原環境管理プロジェクト運営指導調査）

日時	2010 年 9 月 14 日 14:00-15:00
場所	環境庁（DOE）自然環境局会議室
相手先	DOE 自然環境局
面談者	（相手側） Dr. Mohammad Brgher Sadough：DOE 自然環境局局長（再開後のアンザリ湿原環境管理プロジェクトプロジェクトダイレクター予定者） Mr. Ali Ansari：DOE 自然環境局国際部長 Mr. Morteza Farid：DOE 自然環境局生息地保護区部長 Mr. Siamak Rahmani：DOE 自然環境局局長付専門家 （調査団） 平野貴寛（JICA イラン事務所） Aliakbarian Majid（JICA イラン事務所） 青木智男（組織制度整備：日本工営株式会社） 谷本晋一郎（湿原管理・モニタリング：日本工営株式会社） Farzin Fard（通訳）
記録者	日本工営　青木/谷本
面談内容	アンザリ湿原環境管理プロジェクトを再開するにあたり、プロジェクトダイレクター（PD）となることが予定されている自然環境局長に対して調査団から再開に必要な条件を説明し、プロジェクトの実施体制について局長の見解を確認することを目的とした。 自然環境局との主な面談事項は以下のとおり。 <u>プロジェクト再開に必要な条件</u> • 調査団からプロジェクト中断前の問題点として、専門家チームとイラン側 PD 及びプロジェクトマネージャー（PM）との緊密なコミュニケーションが困難であったため、プロジェクトに関する十分な共通認識が図れず、各活動に関るカウンターパートへの適切な指示がされていなかったことを説明した。その上でプロジェクト再開にあたっては、PM が専門家チームと十分なコミュニケーションをとり、プロジェクト活動に自ら参加する（現地にも定期的に滞在する）と共に、各活動を実施する DOE ギラン事務所に対して適切な指示を行うことが必要である旨説明した。 • 自然環境局長はプロジェクト中断について謝罪すると共に、プロジェクトへの積極的な参加について約束した。昨日までも局長はアンザリ湿原保全のための浚渫活動を視察に行っており、再開後に PM となるバゲルザデ・カリミ氏も積極的に関与したいと表明している。また、ゾルフィネジャド DOE ギラン州事務所長は近い将来交代になり、新しい事務所長は積極的に活動するはずであるとのこと。アンザリ湿原は重要な湿原と認識しているので、必要な支援はテヘランから行ことを表明した。 <u>プロジェクト実施体制</u> • 調査団は再開後のプロジェクトでは PD、PM の他にプロジェクトコーディネーター（PC）が配置される予定となっているため、PM 及び PC の役割について説明を求めた。これに対して局長は、技術面では PM が担当するが、現地レベルでのプロジェクト担当は PC になると述べた。具体的には PC は調整役というよりも現地レベルでの指示等の責任を持ち、中断前と同程度の重要性が PC にあるとのこと。 • PD 代理として今回調査に同行するラフマニ氏は、実施体制については調査団が希望する実施体制を現地での協議で提示してもらえれば、ラフマニ氏、PM 代理のアミニ氏、PC 等と議論して柔軟に変更することが可能と述べた。 • ラフマニ氏は DOE 本庁としては専門家の 1 名がテヘランに設置される事務所（PM の隣）に常駐して PM と共に作業することを希望しており、それに

	よってプロジェクト内でのコミュニケーションも向上するものと考えていると述べた。 その他 • JICA イラン事務所から MoFA が M/M にサインすることを合意しているので、DOE から公式に招待してほしい旨依頼し、局長は望ましいことなので国際局を通じて招待する旨回答した。局長からこれからの協議についての内容（M/M 案）はもらえるのかと問われたため、調査団は日本の JICA 本部から団長及び協力企画団員が来た後に、状況を把握した上で提出すると回答した。 • JICA イラン事務所から今回調査に共同通信と NHK の記者が同行する予定であることを説明した。これに対して国際局部長は正式な要請が来ていないこと、許可なしに記者が同行することは出来ないことを述べ、本日午後 5 時までに記者同行の可否について確認すると回答した。 以上

日時	2010年9月15日 14:00-16:30
場所	DOEギラン州事務所所長室
相手先	DOEギラン州事務所長
面談者	（相手側） Mr. Kamran Zolfinejad：DOEギラン州事務所所長（中断前のPM、再開後のPC予定者） Mr. Siamak Rahmani：DOE自然環境局局長付専門家 Ms. Shaleh Amini：DOE自然環境局シニア湿地保全専門家 Mr. Mahmoud Farajpour：DOEギラン州事務所職員 Ms. Delaram Golmarvi：DOEギラン州事務所職員 （調査団） 平野貴寛（JICAイラン事務所） Aliakbarian Majid（JICAイラン事務所） 青木智男（組織制度整備：日本工営株式会社） 谷本晋一郎（湿原管理・モニタリング：日本工営株式会社） Farzin Fard（通訳）
記録者	日本工営　青木/谷本
面談内容	プロジェクト再開後も実質的な実施組織となるDOEギラン事務所の所長に対し、再開後のプロジェクトの実施体制、JICA供与車両の取り扱い、プロジェクト執務室などについて確認･協議することを目的とした。 DOEギラン州事務所との主な面談事項は以下のとおり。 <u>カウンターパートの配置について</u> • 調査団はカウンターパートの配置について、ゾルフィネジャドDOEギラン事務所長の考えを問い合わせると共に、CPリストを可能であれば19日の調査団長及び協力企画団員を交えた協議までに提出していただくことを要請した（併せて専門家のポジション名は中断前と変わらないこと、担当する専門家は一部交替になることを述べた）。 • ゾルフィネジャド氏はCPは専門家のリストをみてそれに併せる必要があること、またプロジェクトの実施体制が変わり自分は本庁の指示がないと動けないので本庁（サド局長）と相談して19日午前までに対応を返答する（CPリストを用意できるかどうか含めて）と回答した。 <u>JICA供与車両の取り扱いについて</u> • 調査団は車両の現在の状況、及びプロジェクトにおける車両の取り扱い（ドライバーの手配､ガソリン代の支払等をプロジェクトに支障がないようDOEギラン州事務所が行うこと）を問い合わせた。 • ゾルフィネジャド氏は車両2台の使用については可能と言ったが、運転手やガソリンなどの関連負担事項についてはサド局長と相談しないと返答できないため、19日午前までに回答を準備すると述べた。 <u>供与機材の確認</u> • 調査団は供与機材の状況を再確認したい旨要請した。 • ゾルフィネジャド氏は機材が保管されている旧プロジェクト執務室の鍵はPD代理のラフマニ氏が持っているので、自由に見てもらいたいと述べた。 <u>プロジェクト執務室の設置</u> • 調査団はDOEギラン州事務所内のプロジェクト執務室の設置状況の説明を求め、可能であれば予定となっている部屋を見せてもらうことを要請した。 • ゾルフィネジャド氏はDOEギラン州事務所内にプロジェクト執務室を準備する話しは聞いていないとのこと。アンザリに執務室を置くことを好まない理由を問われ、調査団より技術支援に当たっては緊密なコミュニケーションが必要でアンザリの事務所では遠すぎることを説明（技プロとは何かから説

	明）し、DOE ギラン州事務所内の執務室設置がプロジェクト開始の前提条件であることを強調した。ゾルフィネジャド氏は事務所建物内には十分なスペースが無いので、近隣の建物内に執務室を設置するしかないが、自分には決定権が無いためサド局長と相談して 19 日午前中までに調査団へ返答すると回答した。 プロジェクト実施体制 • 調査団はゾルフィネジャド氏に対し、PC としての役割、PM とのコミュニケーションなどのプロジェクト実施体制についてどのように認識しているか見解を求めた。また、M/M には具体的な実施体制を図化して添付したいと述べた。 • ゾルフィネジャド氏は PC の役割をまだ本庁から説明されていないとした上で、プロジェクト運営上の決定権は本庁にあり、自分は指示に従って動くだけであると強調した。プロジェクト実施体制図の作成もサド局長と相談しなければ出来ないので、M/M 案を 18 日にサド局長に送付したいとのこと。 その他 • ゾルフィネジャド氏によれば DOE ギラン州事務所ではアンザリ湿原の生態管理計画（10 年計画）を作成済みであり、この計画はギラン大学、イエコム・コンサルタント、37 年前の米国による報告書、JICA 開発調査報告書などをもとに作成し、2 日前より計画に従った浚渫作業を開始しているとのことである。同生態管理計画の英語概要版を再開までに JICA に提出するとのこと。 以上

日時	2010年9月18日 10:00-12:30
場所	DOEギラン州事務所所長室
相手先	DOEギラン州事務所
面談者	（相手側） Mr. Siamak Rahmani：DOE自然環境局局長付専門家 Ms. Shaleh Amini：DOE自然環境局シニア湿地保全専門家 Mr. Alireza Alaei：DOEギラン州事務所アンザリラボ職員（元ｱｳﾄﾌﾟｯﾄ2のCP） Ms. Sepideh Keshtkar：DOEギラン州事務所職員（元ｱｳﾄﾌﾟｯﾄ3のCP） Mr. Mahmoud Farajpour：DOEギラン州事務所職員（元ｱｳﾄﾌﾟｯﾄ4のCP） Mr. Manour Sarbazi：DOEギラン州事務所職員（元ｱｳﾄﾌﾟｯﾄ5のCP） Ms. Delaram Golmarvi：DOEギラン州事務所職員（元ｱｳﾄﾌﾟｯﾄ5のCP） （調査団） 平野貴寛（JICAイラン事務所） Aliakbarian Majid（JICAイラン事務所） 青木智男（組織制度整備：日本工営株式会社） 谷本晋一郎（湿原管理・モニタリング：日本工営株式会社） Farzin Fard（通訳）
記録者	日本工営　青木/谷本
面談内容	プロジェクト中断前のCPからプロジェクト活動（各アウトプット）の進捗状況を聴取･確認し、PDM・POの見直し、再開後のプロジェクト計画検討に資することを目的とした。 DOEギラン州事務所職員との主な面談事項は以下のとおり。 <u>プロジェクトサイトの状況</u> • 面談した5名の職員によれば、アンザリ湿原の状況は2年前と大きな変化はない。 • リングロードは橋脚タイプで建設することで合意された。建設の条件は以下の通り ・橋脚の幅は水の流れを妨げない間隔を確保（正確な間隔は不明） ・湿原内に休憩施設などは建設しない ・湿原内16 kmのうち2/3を橋脚タイプとする リングロードの建設は再開されたが、その後橋脚の間隔が短いこと、2/3が橋脚タイプにならない見通しであることが判明したため､DOEが工事を中断させた。現在は工事中断中。 • 2年前に湿原内のサッカー場建設計画がスポーツ庁より申請されたが、DOEは却下した。EIA未実施であり、当面建設は行われない見込み。 <u>アンザリ湿原保全計画</u> • Anzali Wetland Restoration Plan (2010-2020)が策定された。DOEが原案を策定し、ギラン州Technical Deputy Governorを中心とした関係機関を含むJoint Committeeにおいて承認された。保全活動はフェーズI（5年間）とフェーズII（5年間）で構成され、フェーズIでは浚渫、ヨシ刈り、アゾラ除去などが実施される。5年間の予算総額は27億円との情報が新聞に掲載されている。フェーズIIに向けては専門家委員会を設立して今後計画内容を詳細に決める予定とのこと。 <u>アウトプット1</u> • プロジェクト活動としての進捗はなし。 • Anzali Wetland Restoration PlanとJoint Committeeの位置づけ、プロジェクトとの関係について事務所職員は不明とのこと。Technical Deputy Governorに確認する必要がある。 <u>アウトプット2</u>

	• 水位観測はプロジェクト開始以前から現在まで継続中だが、データ解析などは行われていない。 • アンザリ湿原の水質調査は行われていない。アンザリラボは以前と同じ状態で機能していない。 • 鳥類調査についてはオランダの専門家を招聘して 2008 年の冬に定点観測調査などを導入して実施（モニタリングマニュアル案でも提案しているが、地点･詳細方法の一致については不明)。方法論と報告書が存在するので英訳して JICA に提出するとのこと。 アウトプット 3 • プロジェクト活動としての進捗はなし。プロジェクト中断前に供与した衛星写真は Raw Data のまま保存されているとのこと。 • Anzali Wetland Restoration Plan の中ではギラン大学のゾーニングがそのまま使われているのではないかとのこと。 アウトプット 4 • プロジェクト活動としての進捗はなし。アクションプラン案の活用実績はない。 • 湿原環境教育センターは年間数回、研修に利用されている。学校から生徒を招き、DOE 職員が講師として研修を実施した実績もある。教育省とはそのような研修ごとに同意書を結んでいる。 アウトプット 5 • ギラン州観光局にマリンツーリズム委員会が設置され､DOE からメンバーとして会議に出席している。マリンツーリズム開発に関して環境面から意見すると共に、環境許認可が必要な場合は DOE 内で協議して決定する。 • 2010 年 3 月に湿原環境教育センターにおいて､ギラン州内の観光業者やガイドを集めて、アンザリ湿原の自然環境やエコツーリズムについて講義を行った。 • DOE と観光局の間でエコツーリズムについての実施が合意された｡詳細活動と予算配分についてはこれから協議が行われる。 • 観光局がアンザリ市の観光パンフレットを 2 ヶ国語（ペルシャ語・英語）で作成中（DOE 職員も参加)。近く配布する予定。 以上

日時	2010年9月19日 10:00-11:00
場所	DOE ギラン州事務所所長室
相手先	DOE ギラン州事務所長
面談者	（相手側） Mr. Kamran Zolfinejad：DOE ギラン州事務所所長（中断前の PM、再開後の PC 予定者） Mr. Siamak Rahmani：DOE 自然環境局局長付専門家 Ms. Shaleh Amini：DOE 自然環境局シニア湿地保全専門家 Mr. Mahmoud Farajpour：DOE ギラン州事務所職員 Ms. Delaram Golmarvi：DOE ギラン州事務所職員 （調査団） 遠藤浩昭（調査団長：JICA 地球環境部） 中瀬亮輔（協力企画：JICA 地球環境部） 平野貴寛（JICA イラン事務所） Aliakbarian Majid（JICA イラン事務所） 青木智男（組織制度整備：日本工営株式会社） 谷本晋一郎（湿原管理・モニタリング：日本工営株式会社） Farzin Fard（通訳）
記録者	日本工営　青木/谷本
面談内容	本調査団長の遠藤氏および協力企画団員の中瀬氏が調査に合流したため、あらためて DOE ギラン事務所所長を訪問し、プロジェクトの目的、再開後のプロジェクトの実施体制などについて確認･協議することを目的とした。 DOE ギラン州事務所長との主な面談事項は以下のとおり。 • 遠藤団長より PDM に基づくプロジェクトの目的、実施内容の確認、コミュニケーションの重要性とそのためプロジェクト事務所を DOE ギラン州事務所建物内に設置することの依頼、アンザリ湿原管理委員会の準備依頼等が行われた。また本調査の目的としてプロジェクト開始前の準備が必要な上記依頼事項等について実施期限と共に M/M に記載することが述べられた。 • DOE ギラン州事務所長のゾルフィネジャド氏は事務所の建物内が手狭で専門家の活動に必要なスペースを確保することが難しいことを説明し、場合によっては建物外の近隣にプロジェクト用のスペースを借りると返答した。また委員会については州政府の Technical Affair Deputy の担当事項なので、協力が得られる見込みとのこと。 • 遠藤団長より再度コミュニケーションの重要性が強調され、現地での活動に事務所長が積極的に関る必要があること、専門家チームではチーフアドバイザーの他に副チーフアドバイザーを配置して PD、PM、PC とのコミュニケーションを密にすること、イラン側でも出来れば PM または PM の代理にラシュトに常駐してほしいと考えていることが述べられた。 • ゾルフィネジャド氏は了解し、再開後は引き続き中断前のメンバー（本調査に参加している青木・谷本の名前を挙げた）により支援を望むと返答した。 以上

日時	2010 年 9 月 19 日 11:00-12:30
場所	DOE ギラン州事務所所長室
相手先	DOE 本庁およびギラン州事務所職員
面談者	（相手側） Mr. Siamak Rahmani：DOE 自然環境局局長付専門家 Ms. Shaleh Amini：DOE 自然環境局シニア湿地保全専門家 Mr. Mahmoud Farajpour：DOE ギラン州事務所職員 Ms. Delaram Golmarvi：DOE ギラン州事務所職員 （調査団） 遠藤浩昭（調査団長：JICA 地球環境部） 中瀬亮輔（協力企画：JICA 地球環境部） 平野貴寛（JICA イラン事務所） Aliakbarian Majid（JICA イラン事務所） 青木智男（組織制度整備：日本工営株式会社） 谷本晋一郎（湿原管理・モニタリング：日本工営株式会社） Farzin Fard（通訳）
記録者	日本工営　青木/谷本
面談内容	前日に提出した本調査 M/M 案について DOE からのフィードバックを受けることを目的とした。 DOE 本庁およびギラン州事務所職員との主な面談事項は以下のとおり。 • DOE 本庁よりプロジェクト期間と開始時期についての質問があり、調査団は専門家配置と予算の都合により西暦の来年 4 月頃になること、プロジェクト期間は PO 案に示すとおり 15 ヶ月程度を想定していると回答した。 • DOE 本庁よりモニタリングには重金属と富栄養化が入っているかどうかの確認があり、調査団は入っていると回答した。またプロジェクトで使用するラボをアンザリからラシュトへ変更する調査団案について DOE ギラン州事務所職員は問題ないと回答した。 • 調査団は PDM について 4 月開始を前提に指標を明確にすること、今後 PDM を変更する場合は JCC に諮ることを述べた。これに対し JICA 事務所職員よりその PDM 変更手続きを M/M に記載することが提言され、調査団は合意した。 • PC の責任について JICA 事務所職員より責任は PM にあるのではないかとの質問があったが、調査団から事務所の活動に責任のある PC には DOE の本来業務であるプロジェクト活動についても一定の責任があり、PC の責任に関する M/M の記載は残すと回答した。 • 2 台のプロジェクト車両（専門家が使用する 1 台を含む）のドライバーとガソリン費用を事務所が負担する記載について、JICA 事務所職員から DOE 本庁がそのための予算を DOE ギラン州事務所予算に追加計上するよう調査団から依頼してほしいとの要請があり、調査団は次回本庁との協議で確認すると回答した。 • 調査団から PM と CA のコミュニケーションが重要なので、それぞれに Deputy のポジションを追加すること、PM または Deputy PM のどちらかはラシュトに常駐することを M/M に記載する意向であることを述べた。 以上

日時	2010年9月20日 12:00-15:00
場所	環境庁（DOE）自然環境局会議室
相手先	DOE自然環境局
面談者	（相手側） Mr. Morteza Farid：DOE自然環境局生息地保護区部長 Mr. Siamak Rahmani：DOE自然環境局局長付専門家 Ms. Shaleh Amini：DOE自然環境局シニア湿地保全専門家 Mr. Ali Bali：DOE自然環境局GIS専門家 Ms. Yasaman Rajabkhah：ラムサール地域センター事務局長 （調査団） 遠藤浩昭（調査団長：JICA地球環境部） 中瀬亮輔（協力企画：JICA地球環境部） 平野貴寛（JICAイラン事務所） 青木智男（組織制度整備：日本工営株式会社） 谷本晋一郎（湿原管理・モニタリング：日本工営株式会社） Farzin Fard（通訳）
記録者	日本工営　青木/谷本
面談内容	ギラン州での協議を踏まえて修正した本調査M/M案について、DOE本庁（自然環境局）と協議･確認することを目的とした。 自然環境局との主な面談事項は以下のとおり。 • 遠藤団長より明後日の署名までの協議は全ての出席者が同意するM/Mを作成することが目的であることが述べられ、本日不在のサドゥ自然環境局局長には翌日10時の協議までに本日の協議結果をDOE内部で説明しておいてもらうよう依頼した。 • DOEギラン州事務所からの参加者不在について調査団から翌日の協議には参加できないか打診したが、DOEギラン州事務所では事務所長の交代式（ゾルフィネジャド氏からアブドゥース氏）が翌日行われるため難しく、サドゥ氏からDOEギラン州事務所に協議の内容について説明するとの返答があった。 • DOEからプロジェクトの実施は1年間では困難なため必要に応じて延長することをM/Mに記載することが提案されたが、調査団は現時点で延長は考えていないこと、プロジェクト再開にあたっては1年で終了することを前提に準備を行い、PDMにしたがってプロジェクトを再開することを強調した。ただし、プロジェクト再開後に予想外の事情によりプロジェクト目標を達成するために延長が必要と判断される場合は、その時点で可否について協議出来ると述べた。 • DOEよりCPをDOE外部から契約して配置してもいいかとの質問があり、調査団は活動の持続性を考えるとDOE職員であることが望ましいが、他国でもそのような例はあり不可能ではないこと、またプロジェクトのために契約されたCPはそのままDOEの活動のため継続雇用されることが望ましいことを回答した。 • DOEよりCPの仕事量が増えるためインセンティブとして何があるかとの質問があり、調査団からプロジェクト活動は本来業務なので仕事量が増えるものではなく､個々のCPの仕事量の負担についてはDOE内部で調整してもらいたい旨回答した。 • DOEよりJCCのメンバーに漁業局も追加してほしいとの要望があった。調査団はJCCの役割を説明し､JCCはPDが主催するものであることを述べた。議題により必要な機関(人)がいれば、関係機関として招待すればよいことも述べたが、基本的には10名程度のプロジェクトの意思決定に深く関係する

	メンバーで構成され、その他はオブザーバーとなること、中断前の JCC メンバーにはオブザーバーレベルのメンバーが多数含まれていたため削除したことを述べ、DOE は了解した。 • 調査団からプロジェクト車両にかかるドライバー代とガソリン代の予算を本庁から DOE ギラン州事務所に追加計上することを要請し、DOE は予算案作成時に考慮すると回答した。 以上

日時	2010 年 9 月 21 日 10:20-12:30
場所	環境庁（DOE）自然環境局会議室
相手先	DOE 自然環境局
面談者	（相手側） Dr. Mohammad Brgher Sadough：DOE 自然環境局局長（再開後のアンザリ湿原環境管理プロジェクトプロジェクトダイレクター予定者） Mr. Ali Ansari：DOE 自然環境局国際部長 Mr. Morteza Farid：DOE 自然環境局生息地保護区部長 Mr. Siamak Rahmani：DOE 自然環境局局長付専門家 Ms. Shaleh Amini：DOE 自然環境局シニア湿地保全専門家 Mr. Ali Nazaridoost：イラン湿原保全国家計画プロジェクト（UNDP-GEF）プロジェクトマネージャー Ms. Yasaman Rajabkhah：ラムサール地域センター事務局長 （調査団） 遠藤浩昭（調査団長：JICA 地球環境部） 中瀬亮輔（協力企画：JICA 地球環境部） 平野貴寛（JICA イラン事務所） 青木智男（組織制度整備：日本工営株式会社） 谷本晋一郎（湿原管理・モニタリング：日本工営株式会社） Farzin Fard（通訳）
記録者	日本工営　青木/谷本
面談内容	前日の協議を踏まえて修正した本調査 M/M 案について、自然環境局局長を交えて DOE 本庁（自然環境局）と確認し、翌日の署名のために最終化することを目的とした。 自然環境局との主な面談事項は以下のとおり。 • DOE より PD・PM のアドバイザリー機関として生息地保護区部を M/M３．実施機関および ANNEX の実施機関図に明記するよう提案があった。これに対し調査団は同意した。 • DOE より Deputy PM の配置について疑義があった。これに対し調査団から PM またはそれに準ずる立場の人が現地に常駐してプロジェクトをまとめる必要があり、PM の常駐が難しいと考えられる現状では Deputy PM の配置を決めておくことが必要である旨回答した。DOE は了承し、M/M では人選まで出来ないが、後日本庁またはギラン州事務所から適切なスタッフを選定すると述べた。 • M/M では、PD：サドゥ氏、PM：カリミ氏、Deputy PM：未定、Provincial PC：DOE ギラン事務所長と記載することで合意した。 • DOE より JCC 会議を中央レベルと州レベルで開催したい旨提案があった。調査団は州レベルでの関係機関での連携においては、セミナーやワークショップを適宜開催し、協議及び情報共有することで対応することが望ましいと回答した。ただし、イラン側が州レベルでの JCC 開催の必要性を強く認識するのであれば、州レベルでの開催については、イラン側が主体的に会議等を設定することで情報を共有することとし、必要に応じて日本側からも会議に出席する等、サポートすると述べた。 • DOE より JCC メンバーに生息地保護区部および UNDP-GEF 湿地保全プロジェクトも加えるよう要請があり、調査団は同意した。 • DOE よりアンザリ湿原管理委員会のメンバー選定方法について M/M に記載してはどうかとの提案があった。これに対して調査団は委員会の設立は活動の一部であり後日日本とイランの技術者同士で協議して決めるものであると回答した。

	• DOE より予算確保のために日本側、イラン側の支出を項目別に記したリストを提出してほしいとの要請があり、調査団は日本側の暫定的な金額を記入した非公式なリストを 10 月末までに提出すると回答した。 • 翌日の M/M 署名は本日と同じ会議室で 10:00 より行うことを確認した。 以上

日時	2010年9月22日 12:00-12:30
場所	外務省東アジアオセアニア局部長室
相手先	外務省東アジアオセアニア局部長
面談者	（相手側） Mr. Ali Asghar Mohammadi：外務省東アジアオセアニア局部長 （調査団） 遠藤浩昭（調査団長：JICA地球環境部） 中瀬亮輔（協力企画：JICA地球環境部） 平野貴寛（JICAイラン事務所） 青木智男（組織制度整備：日本工営株式会社） 谷本晋一郎（湿原管理・モニタリング：日本工営株式会社） Farzin Fard（通訳）
記録者	日本工営　青木/谷本
面談内容	本日署名した本調査M/Mについて説明するとともに、今後のアンザリ湿原環境管理プロジェクトおよびその他のプロジェクトへの取り組みについて意見交換することを目的とした。 東アジアオセアニア局モハマディ部長との主な面談事項は以下のとおり。 • 遠藤団長よりアンザリ湿原環境管理プロジェクト再開にあたって、再開に必要な条件に関する日本側とイラン側の合意事項を記載したM/Mに遠藤団長と環境庁自然環境局長が無事署名を行ったこと、環境庁副長官の署名後にコピーをモハマディ部長に届けることを報告した。また、プロジェクトの開始は来年4月ごろを目途としており、再開にあたって外務省の支援を依頼した。 • 外務省モハマディ部長より本件はJICAとの関係において最も重要であること、政治的には日イ二国間で環境が重要であり本件がシンボルとなること、副大統領が日本で開催される生物多様性条約締約国会議（COP10）のために訪日する予定であり、二国間の関係を強化する機会であることが述べられた。二国間の関係強化のためにアンザリ湿原のプロジェクトは重要な活動であること、世界的な平和のために日イが協働で取り組むことを促進したいことが強調された。 • 遠藤課長よりアンザリプロジェクトは1年程度の期間しかないが、フルタイムのCPの配置や予算についての協議など効率的でコミュニケーションが十分に取れる体制の準備をM/Mを通して約束してきたと述べた。 • モハマディ部長より外務省とJICAとの関係も広げて行きたいので、必要な協調は遠慮なく申し出てほしいとの発言があり、遠藤課長は一つの活動として2013年のルーマニアにおけるラムサール条約締約国会議（COP13）でアンザリプロジェクトの経験が発表できるようイラン側と協働で取り組みたいと述べた。 • モハマディ部長はCDMについての日本の責任、イランの重要性について発言した。またエネルギーセクターやインフラ整備などについてもJICAと取り組みたいとの考えを述べた。 以上

ANNEX I

Project Design Matrix (PDM)

Ver. 02

Project Name: Anzali Wetland Ecological Management Project
Target Area: The Anzali wetland in Gilan Province, including the transition zone that was determined in the Master Plan as the most of the zone lines outside of the wetland.
Target group: Staff of the DOE Gilan Provincial office and staff who participate in the project.
Duration: November 2007 - October 2008 and approx. 1 year after recommencement of the Project in 2011 (total approx. 2 years)

22 September 2010

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicator	Means of Verification	Important Assumption
Overall Goal The Anzali wetland management system, for which DOE is a core constituent, practices adaptive management.	● The Anzali wetland management committee, of which DOE is the secretariat, evaluate s /updates management actions that are based on scientific data at least once a year. (The name of the organization to be revised)	● Minutes of the Anzali wetland management committee meeting	● Relevant organization make further efforts for the management of the Anzali wetland.
Project Purpose A basic system including institutional and technical aspects for the management of the Anzali wetland, for which DOE is the core constituent, is established.	● By the end of June in 2012, management actions are presented based on the scientific data under the agreement in the committee.	● Minutes of the Anzali wetland management committee meeting ● Progress reports and final report of the project	● Necessity measures including budget allocation for the Anzali wetland management are continued by relevant organizations. ● The Anzali wetland system is not damaged by massive natural disasters. ● The water level of the Caspian Sea does not significantly fluctuate.
Outputs 1. A basic institutional structure for the integrated wetland management, for which DOE is the core organization, is established.	1.1 By the end of July in 2011, the committee is established. 1.2 By the end of June in 2012, the wetland management committee is held 3 times in total.	● Minutes of the Anzali wetland management committee meeting ● Progress reports and final report of the project	● Drastic changes in the economy do not occur during the project period that affect the management policy on the Anzali wetland.
2. Monitoring procedures for the wetland management is established.	2.1 A monitoring manual which contains indicators, methods of data collection and analysis is prepared. 2.2 By the end of June in 2012, collecting data for the wetland management using the monitoring manual is started.	● Interview with relevant staff ● Reports of monitoring results	● Staffs are secured for such management activities, as monitoring and environmental education.
3. Zoning is determined, and management strategies (rules & regulations) for each zone are drafted, considering socio-economic status of the Anzali area.	3. By the end of June in 2012, a zoning map with regulations for each zone is drafted.	● Zoning map and regulations for each zone ● Progress reports of the project ● Report of the socio-economic survey	
4. The basis for environmental education using the Environmental Education Center of the Anzali wetland is developed.	4.1 By the end of July in 2011, an action plan for environmental education is formulated. 4.2 By the end of June in 2012, materials for environmental education in the above action plan are developed.	● Action plan for environmental education ● Materials for environmental education	
5. The basis for ecotourism is developed.	5.1 By the end of July in 2011, an action plan for ecotourism is formulated. 5.2 By the end of June in 2012, small-scale facilities for ecotourism are constructed, which may include wooden trails, observation huts and sign boards.	● Action plan for ecotourism ● Facilities for ecotourism	

Activities	Input		
	JAPAN	IRAN	
1-1 Collect and summarize information on the wetland management activities of relevant organizations. 1-2 Draft a plan for a system for the wetland management that shows institutional structure, committee members, roles, responsibilities and others. 1-3 Make an agreement between relevant government offices on formulation of a wetland management committee as part of the management system. 1-4 Establish and hold the wetland management committee with DOE as the secretariat that plays key roles in the management system. 1-5 Provide on-the-job training to DOE for the management of the committee. 1-6 Provide trainings to the staff of the relevant government offices for further understanding of the wetland management. 2-1 Collect information on on-going monitoring activities conducted by each organization, capacity of the staff and the equipment. 2-2 Identify indicators for the wetland conservation, such as water level, water quality and birds. 2-3 Determine monitoring procedures for collection, analysis of data and data handling (database) for the Anzali wetland and develop them into a manual. 2-4 The monitoring manual be presented and have an agreement in the committee. 2-5 Provide trainings (lecture and on-the-job) to DOE and relevant organizations on monitoring procedures. 3-1 Conduct a socio-economic survey in the Anzali wetland and the surrounding area. 3-2 Based on the results of the socio-economic survey, review the zoning plan presented in the Master Plan and draft regulations for each zone. 3-3 Hold stakeholder meetings to explain zoning, the survey results and the draft regulations to receive feedback. 3-4 Finalize zoning plan with boundaries and regulations, which need to be presented at the committee for discussions. 4-1 Collect information on on-going activities and existing materials for environmental education in Gilan Province. 4-2 Referring to the results of the pilot project in the Master Plan study, formulate an action plan for environmental education including the training schedule at the Environmental Education Center. 4-3 Make an agreement on the environmental education action plan in the committee. 4-4 Produce materials for environmental education in the above action plan, including audio-visual materials, and pilot implementation of environmental education. 5-1 Collect information on on-going ecotourism activities conducted in Gilan Province including activities of private sector. 5-2 Referring to the results of the pilot project in the Master Plan study, formulate an action plan for ecotourism including training and development of small-scale facilities. 5-3 Make an agreement on the ecotourism action plan in the wetland management committee. 5-4 Construct small-scale facilities for ecotourism, which may include wooden trails, observation huts and sign board with pilot eco-tours.	Experts Chief Advisor Deputy Chief Advisor Institutional Development Wetland Conservation and Monitoring Zoning (rules & regulations) Ecotourism Environmental Education Project Coordinator Short term experts (number and technical fields to be determined) Equipment Vehicle (2) Equipment for data collection Equipment for Environmental Education Construction material for small-scale infrastructure on ecotourism Training Training Iranian counterparts in Japan and/or the third countries (1-2 persons per year)	CP (9 positions) Project Director Project Manager Deputy Project Manager Provincial Project Coordinator Institutional Development Zoning (rules & regulations) Monitoring (water level, water quality, birds) Ecotourism Environmental Education Other staff Administrative staff Drivers (2) Facilities Office space Equipment Equipment for administration Equipment for environmental education Local Cost	• Principal members in each activity do not leave / transfer for the project period Preconditions • The security of the target area does not change for worse. • Bird flu does not become epidemic in the target area.

Note: Items modified from the PDM Ver. 01 are shown with underline.

ANNEX II

Revised Plan of Operations

Ver. 02

22 September 2010

Output 1: Institutional Development

Activity	Month														
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
[1] Collect and summarize information on the wetland management activities of relevant organizations	■	■	■												
[2] Draft a plan for a system for the wetland management that shows institutional structure, committee members, roles, responsibilities and others	■	■	■		▲										
[3] Make an agreement between relevant government offices on formulation of a wetland management committee as part of the management system				▲											
[4] Establish the wetland management committee with DOE as the secretariat that plays key roles in the management system				▲					▲					▲	
[5] Provide on-the-job training to DOE for the management of the committee					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
[6] Provide trainings to the staff of the relevant government offices for further understanding of the wetland management							▲	▲		▲	▲		▲		

Remarks:

Activity [1] will be carried out again to reconsider the draft plan for a system for the wetland management. Timing and frequency of the management committee meetings and trainings are clarified.

Output 2: Monitoring

Activity	Month														
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
[1] Collect information on on-going monitoring activities conducted by each organization, capacity of the staff and the equipment.		■													
[2] Identify indicators for the wetland conservation, such as water level, water quality and birds.		■													
[3] Determine monitoring procedures for collection, analysis of data and data handling (database) for the Anzali wetland and develop them into a manual.		■	■												
[4] The monitoring manual be presented and have an agreement in the committee.				▲											
[5] Provide trainings (lecture and on-the-job) to DOE and relevant organizations on monitoring procedures.					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

Remarks:

Activities [1] – [3] will be carried out again to revise the monitoring manual before the 1st management committee meeting. Monitoring indicators of wildlife are limited from mammals and birds. Trainings (lecture and on-the-job training) will be carried out every month.

Output 3: Zoning

Activity	Month														
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
[1] Conduct a socio-economic survey in the Anzali wetland and the surrounding area															
[2] Based on the results of the socio-economic survey review the zoning plan presented in the Master Plan and draft regulations for each zone															
[3] Hold stakeholder meetings to explain zoning, the survey results and the draft zoning plan to receive feedback															
[4] Finalize zoning plan with boundaries and regulations, which need to be presented at the committee for discussions															

Remarks:
Review the zoning plan and establishment of draft regulations will be carried out before the 1st management committee meeting.

Output 4: Environmental Education

Activity	Month														
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
[1] Collect information on on-going activities and existing materials for environmental education in Guilan Province															
[2] Referring to the results of the pilot project in the Master Plan study, formulate an action plan for environmental education including the training schedule at the Environmental Education Centre															
[3] Make an agreement on the environmental education action plan in the committee															
[4] Produce materials for environmental education in the above action plan, including audio-visual materials, and pilot implementation of environmental education															

Remarks:
Activities [1] – [2] will be carried out again to revise the environmental education action plan before the 1st management committee meeting. Pilot implementations will be carried out three times using prepared environmental education materials.

Output 5: Ecotourism

Activity	Month														
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
[1] Collect information on on-going ecotourism activities conducted in Guilan Province including activities of private sector	━	━	━												
[2] Referring to the results of the pilot project in the M/P study, formulate an action plan for ecotourism including training and development of small-scale facilities.	━	━	━												
[3] Make an agreement on the ecotourism action plan in the wetland management committee.				▲											
[4] Construct small-scale facilities for ecotourism, which may include wooden trails, observation huts and sign board with pilot eco-tours.					━	━	━	━	▲	━	━	━	━	▲	

Remarks:

Activities [1] – [2] will be carried out again to revise the ecotourism action plan before the 1st management committee meeting. Pilot eco-tours will be carried out at the middle (winter) and the end (summer) of the project period.